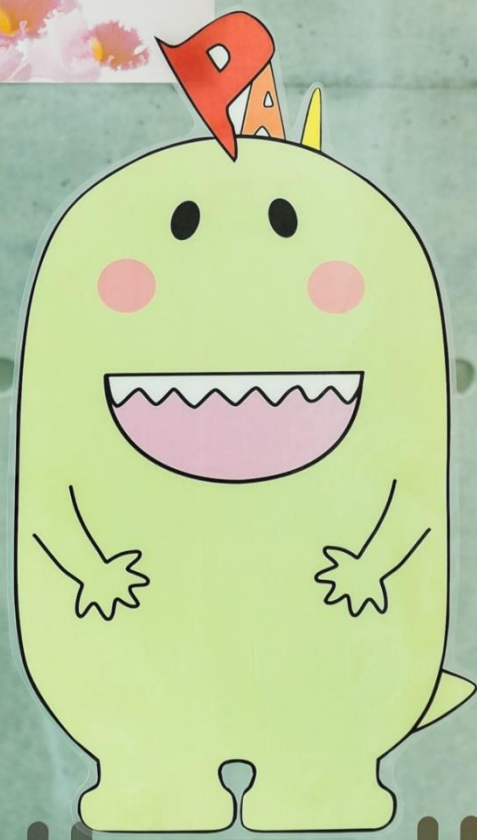
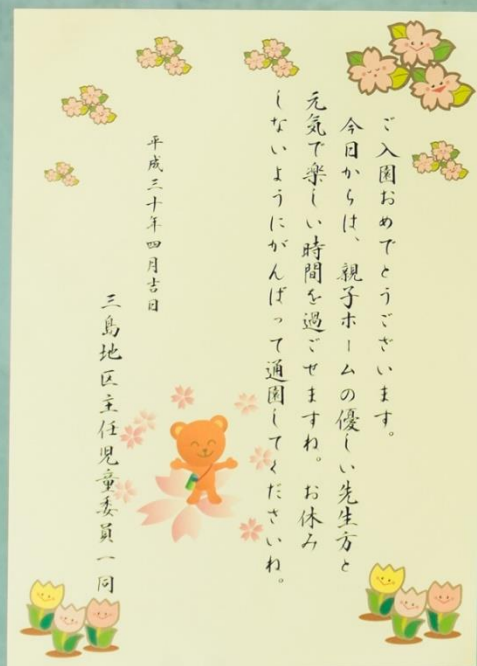
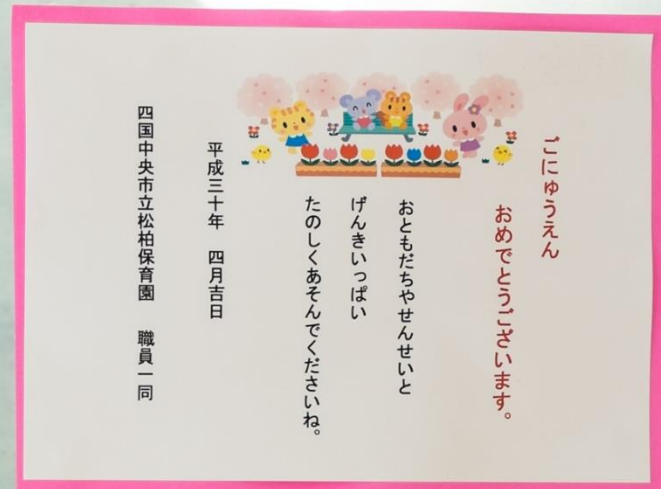


パレット・レター



2018
May
No. 5



2018年5月7日発行

いただいた寄附金で箱庭のオブジェを整備しました。

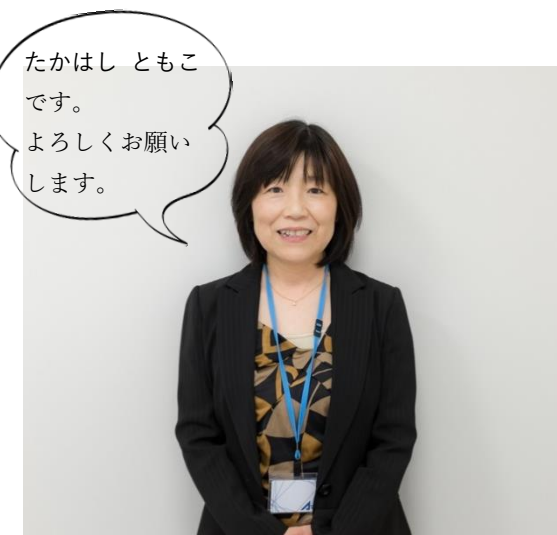
管理係



パレット・レター第3号でお伝えした四国医療福祉総合学院からいただいた寄附金を活用し、この度「箱庭療法」で用いるオブジェを購入しました。

箱庭療法は、子どもから高齢者までさまざまな領域で用いられている心理療法のひとつです。砂の入った箱の中に、人形や動物、樹木や建物などのミニチュア玩具を置いたり、砂を使ったりして自由に表現します。

言葉にならない思いやこころの動きを感じとることができるため、Paletteでも自己理解や自己変容を促すことを目的に、心理療法の中で箱庭療法を取り入れています。



発達支援相談員を増員しました。

子ども若者総合相談センター

5月1日から、子ども若者総合相談センターの発達支援相談員として、高橋友子が勤務しています。

同じく発達支援相談員の高橋和子、鶴岡英子とともに、電話相談、来所相談、巡回相談などを担当いたします。

よろしくお願いします。

子ども若者発達支援センター会報

パレット・レター

- 発行 -

四国中央市子ども若者発達支援センター

TEL 0896-28-6029 FAX 0896-28-6030

palette@city.shikokuchuo.ehime.jp



Palette またはパレット・レターに関するお問合せは上記まで。

パレット・レターの表紙になってくれるお子さんを募集します。ご協力いただける方は、Paletteの職員または上記までご連絡ください。

入園式を行いました。——児童発達支援センター



4月4日に行われた入園式には、市長をはじめ、日ごろよりご支援をいただいている大勢の来賓の皆さんにご出席いただきました。また、関係機関の皆さまからもたくさんのお祝詞をいただきました。

入園された56名の児童とその保護者のみなさんが、Paletteに安心して通園していただけるよう、職員一同、心をひとつにしてがんばってまいります。



「5歳児相談」が始まります。

——子ども若者総合相談センター

2018年5月から
3つのモデル園で
Start!



フリータイムを延長します。

——東部子どもホーム

「家族以外の人との食事を楽しむ」「簡単な昼食を自分で準備する」などを目的に、フリータイムの時間を午後1時まで延長することになりました。

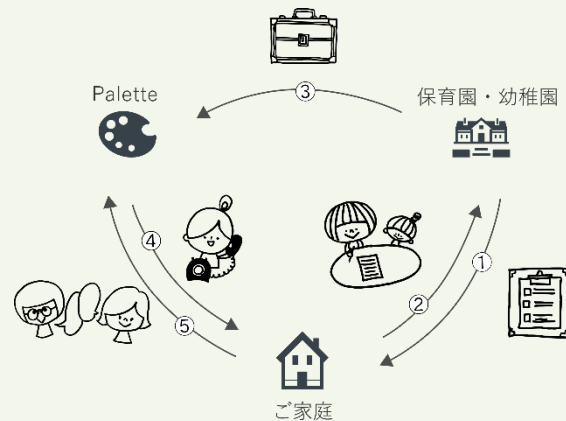
昼食はお弁当に限らず、電子レンジや湯沸かしポットなどでインスタント食品の調理もできます。

また毎週水曜日は「買い物日」として、徒歩でイオンに買い出しにも行きます。

そして月に一度の「簡単ご飯の日」には、調理器具を使って簡単な一品料理を作ります。

将来的に、自分で食事を準備することへの第一歩となることを願っています。

5歳児相談のながれ



- ① 5歳になる月に、通っている園からアンケート用紙が配られます。[H30は市内3園のみ]
- ② ご家庭でアンケートに記入し、園に提出します。
- ③ 園から Palette にアンケートが届きます。
- ④ アンケートで相談を希望された方や、お子さんの様子をもう少しお聞きしたい場合に Palette から電話をさせていただきます。
- ⑤ お子さんと一緒に Palette で5歳児相談をします。

5歳の頃は、心やからだの成長が大きく、友達とさまざまな体験をする中で、社会性の発達が芽生えてくる大切な時期です。

反面、まだまだ甘えたい気持ちや自己主張も強く、ご家族にとってはどう関わっていいか時に迷うこともあると思います。

そこで四国中央市では、小学校入学まで1年余りとなる大切な節目の時期である、年中児(満5歳)のお子さんを対象とした「5歳児相談」の実施に向けて、現在準備をすすめています。

平成30年度は、市内3園の「モデル園」で5歳児相談を導入し、評価・検証の後に全市に拡大したいと考えています。